

修了評価の方法

評価基準作成者： 川邊 久美子

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 職務の理解/全項目(2) 介護における尊厳の保持・自立支援/全項目(3) 介護の基本/全項目(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携/全項目(5) 介護におけるコミュニケーション技術/全項目(6) 老化の理解/全項目(7) 認知症の理解/全項目(8) 障害の理解/全項目(9) こころとからだのしくみと生活支援技術/全項目(10) 振り返り/全項目 <p>2 出題形式</p> <p>正誤式、穴埋め式、語群選択式、組み合わせ式</p> <p>3 出題数</p> <p>全168問 合計200点満点とする。(配点)</p> <p>正誤式135問(各1点)</p> <p>穴埋め式3問(2点×2問、3点×1問)</p> <p>語群選択式22問(1点×10問、2点×12問)</p> <p>組み合わせ式8問(各3点)</p> <p>4 合否判定基準</p> <p>140点以上(正解数7割以上)</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">・評価終了後すぐ、理解の不足している点を中心に補習を行い、当日中に再評価を行う。当日の補習、再評価については原則無料とする。・再評価においても評価基準を満たさない場合、別途個別に補習を実施し再々評価する。これにかかる費用は以下のとおりとする。 補習料：1時間当たり3,000円(税込) 再評価料：1回 1,000円(税込) 再評価：当日最大3回まで実施する。
------------	--